

新學議團長 此の官憲の暴壓に拘らず、學議團の存否は
 聊かの動搖せず、いさ／＼激烈な闘争を継続したが、小岩井團
 長と面々に依り、新學團長を談く、其の必要あり、二十日新學
 議團を閉じ、結果、關東同盟主事斎藤健一氏を新學團長
 と推した。其他に於ては種々陣營の整備を以て、學議團の
 戰鬥力は一層加はり、國員の闘争熱はいさ／＼熾烈と燃えた。

女房隊の戰勝祈願

此處に採録したる學議の討し、家庭を守り、女房連の最早家
 庭に歸せしめし居らば、彼女等亦戰線に飛出するに至り
 以て神社の参拝して戰勝を祈願し、或は會社を訪問して童
 子遊樂場を求め、或は又天を返せと警衆の押掛ける
 聖地を加へ、その集會を疏散せし、神社参拝をさし不自由な
 下ありしに、戰力の乏しき、四谷、板東、此れを以て、女房隊は之れを屈

兒童の祈願を中絶し、別項の如く盟休是處に因り、日録に記し、
 各神社の戰勝祈願を以て、戦力不足を以て、戦力不足を以て、

板東者拡大 十四日、事件に關する、板東者、益々拡大し、二十三日
 乙、板東者、永繼萬歳、兩次、五、板東者、要す、送局、此れを。

(完)

追記

經過報告第六号の官憲より日誌其他を採収せしむ
 在り、發行意旨の遵從を以て、今後必ず定期に
 発行す。